

令和6年度焼津市文化振興計画 推進委員会 会議録		開催	日時 令和6年7月31日(水) 午後2時00分～3時00分
			場所 焼津市役所7階第3委員会室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部長挨拶 3 出席者紹介 4 会長、副会長の選出 5 会長挨拶 6 報告事項 ・焼津市文化振興計画アクションプログラム推進状況令和5年度実績報告 7 その他 ・令和6～10年度の焼津市文化振興計画アクションプログラムの紹介 ・焼津市文化財保存活用地域計画の紹介 8 閉会 		
出席者 委員 7人 事務局 5人 合計 12人	二木秀幸委員(静岡福祉大学)、川口円子委員(焼津市文化財保護審議会)、 松田敏孝委員(焼津商工会議所)、吉永律子委員(公益財団法人焼津市振興公社)、 高富美智子委員(焼津市文化連盟)、青木直子委員(焼津市音楽連盟)、 杉山詳乃委員(焼津市校長会) 事務局(海野生きがい・交流部長、日下部課長、鈴木主幹、石野係長、山田主査)		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 出席者紹介 (山本智美委員は欠席) 4 会長、副会長の選出 二木秀幸委員を会長に選出、全員同意し、承認 川口円子委員を副会長に選出、全員同意し、承認 5 会長挨拶 6 報告事項 (1)各種報告 事務局より資料「令和5年度 焼津市文化振興計画アクションプログラム推進状況実績報告」に基づき説明 <p>○吉永委員より、補足説明あり。 文化会館について、新型コロナウイルス感染症を理由として使用者が減少していたが、令和4年度頃から回復傾向にあり、完売となるような鑑賞型事業もいくつか見受けられるようになった。 芸術文化を見ていただくことも大切だが、5ページにあるとおり「文化活動の発表の場の提供」も重要なことである。焼津文化会館で開催している「まちかど展」及び「市民工芸公募展」では小学生から一般まで、大井川文化会館による「ミュージコピアノマラソン」では3～79歳の幅広い年齢層の方々に発表の場の提供を行うことができた。 また、大井川文化会館にて開催した「ミュージコ吹奏楽フェスティバル」では、川根中学校より団員数7名のブラスバンド部が出場された。団員数が少数であると、大きな舞台での演奏は非常に大切な機会であると思う。終盤、全出場団体が一斉に演奏する場では、総勢何十名の中で一緒に演奏することで感動している生徒の姿も見受けられた。 発表の場は、発表者がワンランク上を目指す良いきっかけともなるため、市民の皆さまに是非とも文化会館を利用していただきたいと思う。</p>		

(2)各委員からの報告(意見交換)

○川口副会長

大井川文化会館にて開催された「ミュージコピアノマラソン」に子どもが参加した。ステージ上には3台のピアノが設置しており、そのうち1台はスタインウェイピアノで非常に人気を集めていた。良いものに触れる機会について、普段行われている部活動等では中々困難であることから、貴重な機会を提供していただいたと思う。

子どもが小学生の頃、市内小学校の読み聞かせボランティアとして活動していたが、新型コロナウイルス感染症を理由として、活動が長期間中断していた。昨今、感染症が収束傾向にあることからボランティア活動を再開したいと学校側は考えたが、ノウハウを持つ保護者の子供が中学校へ進学したことが理由で、対応できる保護者が不在となってしまった。「手伝ってもらえないか？」と学校側より依頼を受け、OBとして現在は、このボランティアに携わっている。

ボランティア活動をする中で先生から「どのような本が子供たちの郷土学習に使えますか？」と質問を受けた。小学校の図書室には、充実した資料が揃っており、絵本だけでなく調べ学習に使用できるものは多数あるが、生徒より「〇〇を調べたいが、どの本を見れば良いの？」と聞かれた際に、どの本を薦めれば良いか正直困ってしまうとのことだった。歴史民俗資料館及び図書館が学校の図書室と連携を図ることで、子供たちの探究活動に応じた本の提供ができるようになるだけでなく、企画展を開催する際には子供たちを誘導することも可能であると思われるため、お互いに助け合って事業を展開していただきたい。

○二木会長

連携することは非常に重要なことである。もちろん、できることとできないことがあると思うが、連携することによって1+1=2ではなく、3にも4にもなると言えると思う。

○高富委員

文化連盟は年配の方が増える一方、若い方が新たに加入することも少なく、活動人数は年々減少傾向にあるため、どのように若い世代と関われば良いか問題を抱えている。

先日、文化振興課にて開催して下さった「子どもの文化芸術体験会」では、若い世代と交流する機会を提供して下さりありがたかった。部門によって非常に盛りあがった部門もあれば、応募者が集まらなかった部門もあると聞く。応募が無かった部門であっても、毎年募集案内に掲載することが重要であり、中には「来年こそは参加するぞ」と楽しみにしている子供たちもいると思うので、継続しての対応をお願いしたい。

昨年度は小中学校の校長会にも出席し、出前講座について案内を行った結果、琴及び書道部門において出前講座を実施させていただいた。

例年、市民文化祭のチラシ及びポスターへ掲載する絵については、市内高等学校へ作成を依頼している。今年度は焼津高校へ依頼した結果、計10作品もの作品を提供していただいた。採用は1作品のみとなってしまいが、生徒の皆さんが一生懸命作成して下さった作品であるため、市民文化祭の展示部門(絵画)において特設コーナーを設けて、展示することが決定したため嬉しい気持ちである。

焼津市音楽連盟の会長とお会いした際、音楽連盟とのコラボについても相談させていただいた。コラボすることで来場者の客層も変化することから、実現を目指している。

○二木会長

学校にて、琴や書道などは教科書などの紙面で触れることがあったとしても、実際に触れる機会は滅多に無いと思われるため、文化連盟による出前講座は、

子供たちにとって良い機会になったのではと感じる。

今後、中学校の部活動が地域移行していくに伴い、地域の方々が先生を務められることになっていくと思うので、そのような関わり方を模索していくことも文化連盟が若者を取り込んでいく1つの手段として考えられる。

○青木委員

高富委員がお話ししたとおり、1つの団体だけではやることが限られてしまうことから他団体との連携について重要性を感じる。

例年開催している市民音楽祭について、直近2年間は市内高等学校が出演してくださり非常に華やいだ。若者が入ってくるだけで全然空気感が違う。

音楽連盟に加盟している大井川ジュニア合唱団や焼津少年少女合唱団「ゆりかもめ」について、周りの子供たちに入団について促すと、「ハードルが高い。」と言われてしまうことが多々ある。その理由として、土日の練習は困難、練習に参加することで家族と過ごす時間が失われてしまう等が挙げられた。音楽のことだけでなく、全般的な社会の考え方が変わっていく中で、従来通りの活動継続は難しいと感じた。

○二木会長

焼津少年少女合唱団「ゆりかもめ」は結成から約40年の歴史を築いた団体であることから、「ハードルが高い」と言われるのも当然かもしれない。ただ、そのハードルが高いと思わせないように、入団しやすいような雰囲気作りも大切であろうと考える。

○杉山委員

今年6月、小学6年生を対象として大井川文化会館にて劇団四季を鑑賞した。鑑賞した児童からは、劇団四季の本物の魅力は何ものにも代え難いものであるとの意見が寄せられた。また、子供たちの夢や憧れを育む貴重な機会であり、本物及び質の高い文化に触れることは、学校教育において何よりも大切であると実感した。

中学校の部活動について地域移行へ進めていることに伴い、各所にお世話になっている。私の前任校は島田市内の小学校であり、クラブ活動が存在し地域の方々が講師を務めてくださっていた。島田市は和文化を大事にしていることから、和楽器クラブがあり講師指導の下、琴の発表会も行っていた。クラブ活動の講師について、学校側が講師役を探すべきなのか市が動くべきなのか調整が必要であると感じた。

子供たちにとって学校の教員だけが先生ではなく、様々な立場の方が先生になり得る存在であり、教員が持っていない魅力を展開するために文化連盟による出前講座について、改めて校長会の場で話をしたいと思う。

○二木会長

部活動の地域移行について、学校側が地域住民から講師を探し出すことは非常に困難であると思われる。講師を選出する仕組み作りを行政側へお願いしたい。また、講師選出については教育部局だけでなく、市役所全体で協力していただくよう、前向きに検討をお願いしたい。そのような取り組みが、焼津の文化発展に繋がると思う。

○吉永委員

現在開催されているパリ2024オリンピックについて、セーヌ川を船で行進する予想外の開会式や馬術会場のヴェルサイユ宮殿、水泳会場のパリ・ラ・デファンス・アリーナ等を見て、フランスは芸術の都と言われる意味を改めて実感した。手間及び費用を非常に要すると思うが、芸術が生かされ長期間活用できるような施設が造られると良いと思う。

私が住んでいる地域は区画整理区域だが、当初は住民らが集まって街づくりの会を立ち上げ様々な意見を市へ提示していたが、ある程度まで話が進むと会は開催されなくなってしまった。区画整理が進むことで住み良い街になることは間違いないが、同じ街並みとなってしまうことに時々疑問を感じる。街づくりも文化の一つと思うので、街づくりをする時に文化の保存の視点から意見を言う場は必要だと思う。浜通りにある「服部家」のように伝統的な建物や昔ながらの風景が生かされるような街並みとして欲しいと思う。

○二木会長

地域に根付いた文化を残しつつ開発していくことが望まれる。文化というものをしっかり考え議論するよう、庁内において共有していただきたいと思う。

○松田委員

音楽が大好きであり、去年は焼津文化会館にて開催された八神純子のコンサートを鑑賞し、今年は同会場で開催予定の夏川りみのコンサートを楽しみにしており、身近な場所で開催していただけることについて感謝している。

現時点で焼津文化会館の Instagram フォロワー数は 448 人、歴史民俗資料館の Facebook フォロワー数は 656 人であり、フォロワー数にゼロが増やせるよう何とか努力したいところである。文化会館の使用者数について、コロナ禍前まで回復しつつあるとお聞きしたが、もっと使用者を増やすためには Instagram や Facebook の活用が重要になる。活用方法について、アドバイスが必要な時は遠慮なく言っていただきたい。

SNS を活用する際は Instagram や facebook など、いずれか一つだけでなく複数活用すべきである。Instagram の利用者は主に 20～30 代の女性、Facebook は年配者が使用する傾向にあるため、様々なターゲットに合わせて複数の SNS を活用することをお勧めする。

○二木会長

20～30 代の方へ「テレビを見るか」と質問をしても、ほとんどの方はテレビを見ずにスマートフォンで情報を得ているようだ。若者に情報を届けることが大事だと思うので、松田委員のおっしゃるように、SNS を通じての予告や実績発信は非常に重要と考える。

7 その他

(1) 令和 6～10 年度の焼津市文化振興計画アクションプログラムの紹介

事務局より資料「焼津市文化振興計画アクションプログラム 2024～2028 年度」に基づき説明

(2) 焼津市文化財保存活用地域計画の紹介

事務局より資料「焼津市文化財保存活用地域計画【概要版】」に基づき説明

(3) 会議録について

本日の会議録については事務局にて作成後、正副会長に確認をしていただいたうえ、市ホームページにて公開を予定。

8 閉会

作成年月日 令和 6 年 8 月 6 日

作成者 文化振興課 市民文化担当 山田